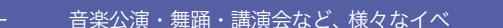


文化備蓄基地の施設紹介

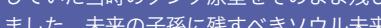
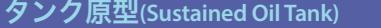
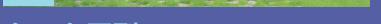


文化マダン(Culture Yard)



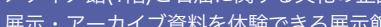
パビリオン(Pavilion)

ガソリンが貯蔵されていたタンク。タンクを解体し、壁や屋根をガラス張りにして、パビリオンになりました。展示・公演・ワークショップ・撮影などが行われます。



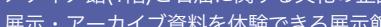
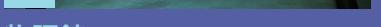
タンク原型(Sustained Oil Tank)

軽油が貯蔵されていたタンク。石油を備蓄していた当時のタンク原型をそのまま残しました。未来の子孫に残すべきソウル未来遺産にも指定されています。



複合文化空間(Culture Complex)

灯油が貯蔵されていたタンクの内部をそのまま活かして再生しました。巨大な鉄製の外壁と柱、空間の響きと暗がりを利用して様々な複合文化芸術を演出することができます。



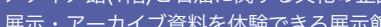
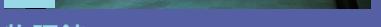
物語館(Story Hall)

灯油が貯蔵されていたタンク。360度映像

メディア館(1階)と石油に関する文化の企画

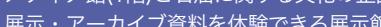
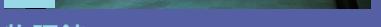
展示・アーカイブ資料を体験できる展示館

(2階)で構成されています。



コミュニティセンター(Community Center)

T1とT2を解体した鉄板を再利用して新しく建てたタンク。カフェテリア・円形会議室・創意ラボなどのコミュニティ空間と、小さな生態図書館「エコラウンジ」、空を見上げられるタンク屋上があります。



文化芸術公募

創作者に文化備蓄基地の空間と機材を提供し、文化芸術活動をサポートする公募プログラムを運営しています。

石油から文化へ

一般人の立ち入りが禁止されていたマポ(麻浦)石油備蓄基地は、計5基の石油タンクに約6,907万リットルの石油が貯蔵されていた第1級保安施設でした。2002年にワールドカップ開催をきっかけに安全のため一度閉鎖されましたが、「市民アイデア公募展」を通して、2017年9月に文化公園として生まれ変わりました。

石油タンク、文化を満たす

文化備蓄基地は石油備蓄基地の特性を活かして、資源を再生し文化を込めて享受する文化備蓄基地になりました。

石油を貯蔵していたタンクは、展示・公演・イベントが開かれる文化空間に、空いていた広場は文化マダンに、解体されたタンクの鉄板は再利用されてコミュニティ空間に、周りの花や木は美しい公園になりました。産業化時代を代表していたここは、今やエコ・再生・文化が中心となる生態文化公園に生まれ変わりました。これからも文化備蓄基地は市民のための文化公園として市民・芸術家・活動家と共にタンクを文化で満たしていきます。

文化備蓄基地のプログラム



展示・公演

自然と芸術が調和した展示、メディア、公演、パブリックアートなど、様々な分野の芸術を企画・運営しています。



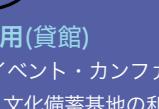
祭り・イベント

文化マダンを中心に、四季折々の多彩な市民参加型文化イベントが繰り広げられます。



文化教育・体験

生態+生活文化プログラム、青少年進路体験プログラム、文化備蓄学校など、様々なプログラムを運営しています。



場所利用(貸館)

祭り・イベント・カンファレンス・撮影など、文化備蓄基地の利用を希望する個人や団体のための貸館プログラムを運営しています。



案内マップ & 利用ガイド

解説ガイドがご案内する市民ツアー

火～土曜日、1日2回運営
(1回目 14:00～15:00 | 2回目 16:00～17:00)

- ・ソウル市公共サービス予約(yeyak.seoul.go.kr)
- 「文化備蓄基地 市民ツアー」で検索

オーディオガイドツアー

火～日曜日、10:00～17:00

- ・言語：韓国語、英語、中国語、日本語
- ・レンタル及び返却場所：案内棟にて無料でレンタル可能

タンクと遊ぼう！

自らタンクを探検し、クイズに答える子ども向けのワークシート

- ・配布場所：案内棟(体験完了後、立体カードを贈呈)

ベビーカー、車椅子、傘は、案内デスクにてレンタルをご利用ください

文化備蓄基地は禁煙とさせていただいております



駐車場の運営案内

24時間運営 | 駐車料金課金時間 9:00～22:00(年中無休)

計42台駐車可能(障害者専用2台分、妊婦専用1台分、女性優先4台分、電気自動車充電1台分)

乗用車 5分当たり150ウォン、中型車(11人乗り) 5分当たり300ウォン

* 駐車スペースが限られており、週末は特に混み合いますので、公共交通機関をご利用ください。

公共交通機関の利用案内

地下鉄 6号線/ワールドカップ・キョンギジャン駅の2・3番出口

裏門の方向に約500m(約7分)、散策路(ウッド階段デッキ)を利用

正門の方向に約800m(約10分)、ワールドカップ

競技場十字路の横断歩道を利用

ワールドカップ競技場西側、文化備蓄基地

幹線バス : 571, 710

支線バス : 6715, 07019, 7715

広域 : 9711A



문화
备蓄
基地